



巻き寿司の丸かぶり


# このはな



# が発祥!



自称 西原此花区長の付き人「ぶり☆でび」

今や節分の定番である「巻き寿司の丸かぶり」実は此花区伝法（当時の申村【さるむら】）が「発祥」と言われています！

昔の節分の日、申村（今の伝法）では「世念講（よねんこ）」といわれる講があり、そこでは村の若者や船頭衆や川人夫が集まって、夜通し雑談や将棋・囲碁・花札、墓場への肝試しなどを楽しんでいました。このとき「巻き寿司」を食べることが当時の習慣でしたが、人数が多いので、巻き寿司を切り分けては間に合わず「腹がすいた。切らずにそのままおくれ」の声が高まり、丸かぶりするようになったのが発祥と言われています。



【恵方巻きって?】  
節分にその年の恵方に向かって目を閉じて、一言もしゃべらず願い事を思い浮かべながら「巻き寿司」を丸かぶりするのが習わしとされてるんですよ！